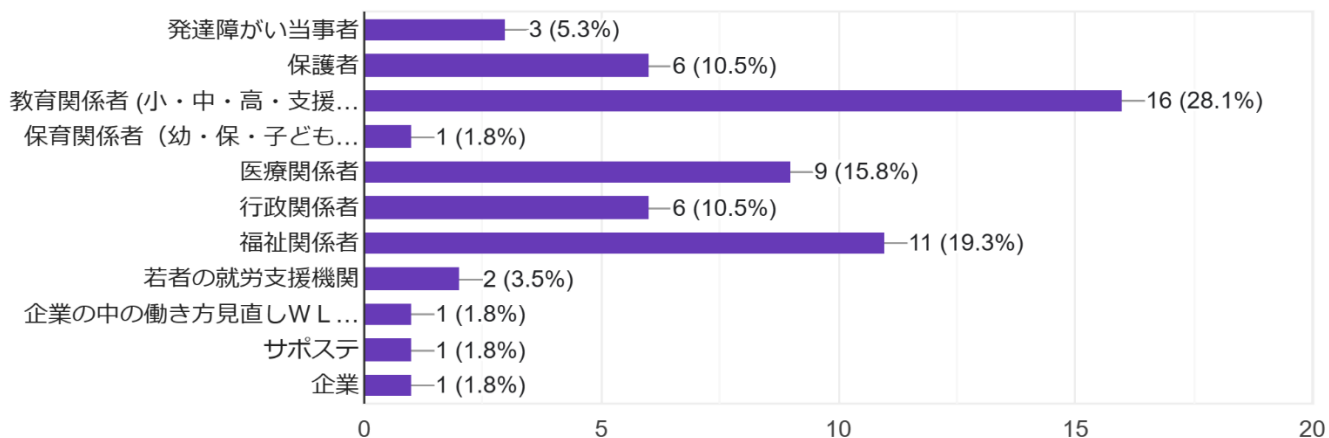


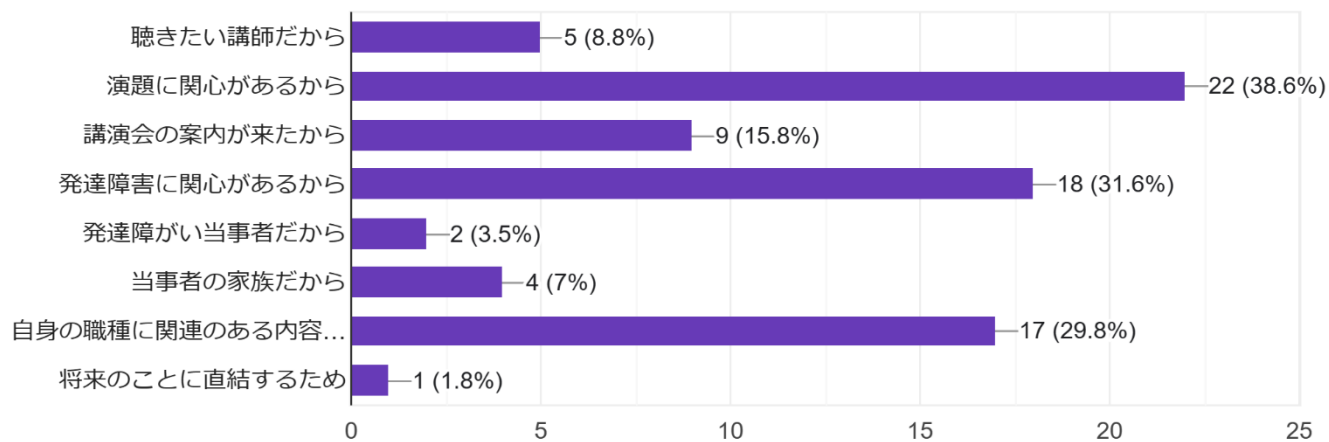
Q1. ご所属についてお伺いたします。当てはまるものを1つ選択してください。

57件の回答



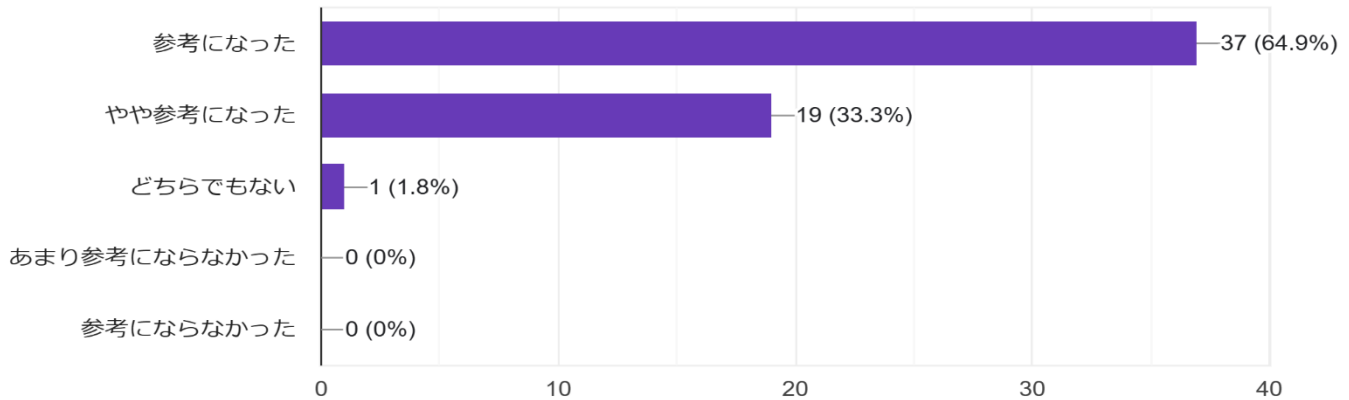
Q2. 今回の講演会を視聴された理由についてお...します。当てはまるものを1つ選択してください。

57件の回答



Q3. 今回の講演会はいかがでしたか。当てはまるものを1つ選択してください。

57件の回答



令和5年度松為信雄先生講演会 申込総数 404 アンケート回収 57件

視聴回数 前半 514回 後半 304回

内訳

福祉関係 128、保護者 88、教育 78、医療 52、行政 38、当事者 10、その他 36 ※重複あり。

Q 今回の講演会のご感想をお聞かせください

働き続けるために必要な力とは何か、どんな支援があれば定着していくのがよくわかった。

発達障害がある方の支援が初めてでしたので、学びを深めることが出来ればと思い、受講させて頂きました。就労支援員としてどのような支援を心掛けたら良いのか、支援のポイントを押さえることが出来たと思います。

発達障害の方々への就労支援を行っています。様々なご苦労がおありになり、個々人に合わせて対応するにあたり、階層的な考え方は大変参考になりました。ありがとうございました。

今回も実際の職務に役立つ内容で興味深く聴かせていただきました。ミスマッチを解消し、安心して長く働けるよう、企業主の方も含め支援ネットワークの確立の重要性など、お話しいただいたことを今後の支援に活かしていきたいと考えます。わかりやすい資料を提供いただけたことにも感謝いたします。有難うございました。

今、中学校通級指導教室の担当をしています。就労の問題や思春期、青年期の視点から発達障害を考える正にタイムリーな内容でした、ありがとうございました。

松為先生の知識の深さを改めて知ることができました

企業の戦力として働き続けるために、本人・家庭や学校、支援機関や企業・団体の基本的な考え方がよくわかる紹介でした。職業準備性は時間をかけて家庭生活スキルとして身につけていかないといけないし、精神疾患を伴った場合でも病院の入院時から就労を意識した作業療法を提供していかないと経済的自立が出来る人材には育たないと思いました。特別支援学校も含めた学校でのキャリア教育・ダイバシティの推進が必要だと思いました。

勉強不足の自分には、専門的すぎてなかなか難しくかったです。

上司が発達障害の時の部下の対応の仕方なども知りたかった

発達障害者の就労のポイントがわかりやすく説明されていて納得しました。

これまで自分なりに考えてやってきたことが方向性として間違っではなかったとわかって安心できた

「キャリア教育」と一般的によく言われるが、実際のところはあまりきちんと理解できていないことがわかったので大変有意義な内容となりよかったです。

たくさんの内容を幅広く簡単に取り上げてお話していただいたので演題の大まかな概要などは分かりやすかったです、一つ一つの内容はとても奥が深いのもっと詳しくお話が聞けたらよいなあと思ったりしました。

今回の話を、保護者向けにできるよう教員一人一人が理解を深めて話ができるようになればいいのだと思いましたが、まだまだ勉強不足だなあと実感したので、また機会があれば 今回のようなテーマでの講演を聞いてみたいと思いました。

経験に基づいたお話でとても参考になりました。

今回、貴重な機会をご準備いただき、ありがとうございました。混在する発達障害の方への対応。考え方を改めて考えるきっかけとなりました。基礎基本は大切だと思います。是非、継続した研修機会をお願い致します。

広く発達障害のある人の就労と支援についてご説明を頂き、今まで幼児児童生徒の方々の発達障害を考えてきましたが、彼ら彼女らも大きくなれば直面する問題でありますので、非常に役に立った。

発達障害の人の就労に向けてのキャリアの視点、自立、とても勉強になりました。

仕事をする上で、障害を開示する場合と開示しない場合のメリット、デメリットがわかりやすかったです。得意不得意は検査で調べてもらえるようですが、働きたいと思う気持ち、どんなことが不安なのか力になってほしい等、自分の気持ちを表現することが苦手な人が多いのではと思うので 根気よく聞き取ってくれる人がいるといいなと思いました 働く為の準備段階が自信や安心に繋がり、支援者や家族等と人間関係が上手くいき支えもありながら働けると理想的だと感じました。早い成果、わかりやすい成果を求めたり、今何の為に何の練習をしているのか目標がわからなくなりやすい場合には、合う職種や工夫もあるのか聞いてみたいと思いました。

発達障害を理解できても個々の性格やものの捉え方を深く理解することはなかなか難しいです。保護者の方で障害について勉強してすごく理解しているのだけど、我が子のことは見えていないみたいなケースも時々あります。講演を聴いて知識を増やすことは必須ですが、支援者の人間性を高めるためには何が必要でしょうか？支援者の価値観を押しつけるわけにもいかないし、職業生活を支えるって、とんでもなく大変で悩みます。いろいろな価値観を持った人と出会うことで支援者も当事者も成長していけると思うので、講演活動を通して出会った興味深い人など、お聞かせいただけたら良かったです。

発達障害のある人の就労と支援について、体系的に学ぶことができました。ありがとうございました。

基礎的内容だったので、復習になった。支援中の利用者さんのことを思い浮かべながら参加させてもらった。

就労するにはという事において内容を客観的に捉える事が出来たかと思います。

合理的配慮は、本人と事業主の話し合いの上で決めていくということが学べました。また、本人の特性と仕事の中身をマッチさせること、はじめはハードルが高いかもしれないが障害を開示することで仕事への定着率が上がるということが分かりました。

障がい者雇用は、企業側も受け入れ態勢を整えた上で雇用する必要があると思います。今回の講演会でそのことを実感しました。定数があるからとりあえず雇用するという体制ではいけないと思います。支援者だけでなく雇用者も障がい者雇用についてもっと学んでほしいと思います。

障害を開示しての就労することのメリットが大きいことをはっきり示していただいたことが大きいです。講義を聞いたことで、自分達も感覚ではなく、根拠をもって話ができるようになると感じました。ありがとうございます。

まだ小学生ですが、基本的な事がサポートなしで出来る事が大切だなと再確認しました。

合理的配慮の例などを示してくださり、わかりやすかったです。発達障害であることの開示と非開示への対処においてのメリット、デメリットも理解できました。本人や保護者の気持ちに寄り添いながら、自分らしく豊かな生活を送れるよう一緒に考えていく必要性を感じました。

次女は高校卒業後社会人2年目になりました。小学校1-2年は情緒の支援学級で、その後はグレーゾーンのサポート通級による指導を受けながら学びました。社会性の低さや苦手意識などでへこんで帰宅する時は、本人との距離感を気にしながら応援しています。色々な視点が分かりやすく話されていたので良かったです。義務教育が終わって社会人になっても娘を支援することの大変さはまだまだ続くのだなど、別の意味での悩みが出てきますが、こういう形で色々情報や知識を得られることが有難いです。

十分な障害理解ができていない保護者や、自分のことを過小もしくは過大評価している生徒と関わる中で、進路を考えた時に必要な考え方を体系的にまとめたものが、自分の中に確立できていなかったのですが、今回の講演を拝見して、資料も含めてとても参考となるものばかりで今後の進路指導や、保護者との懇談において、活用させていただきたいと思います。

就学先を決める保護者と関わっています。障害が重度で保育者側から見ると支援学級より支援学校が適切であると思われませんが、保護者は支援学級を望んでいます。今回の講演を聞いて、将来的なことを考えると、やはり支援学校が良いのではないかと感じました。支援学校で学び、自信をつけて自己決定の仕方を身につけることが重要で、「良い仕事」につながるのではないかと感じました。

働くということは人生を生きる上で大切なタームであることを改めて理解できました。だからこそ、障害があるなしに関わらず、より良く働くことができるように指導・支援していく必要性を感じました。

学校にいる間に、つけておく力、自己有用感や自己決定能力をどう育むか、教員側の問題として考えることができました。学校では、教員がともに、社会にでたら、事業主とともに、と言う考え方を今後も大切にして、学校では、先をみすえて、個々人に合う教育を提供しようと考えました。

当事者の親として、将来の就労に向けて今のような支援をしたら良いか、するべきかが明確になりとても良かった。地域の学校に在籍しているが学校にも伝えていきたい。

発達障害のある人の、小さい頃だけでなく将来を見据えたお話で、大変参考になりました。ありがとうございました。

発達障害の方の就労について必要な支援についての示唆を得ることができました。ありがとうございました。

何度か松為先生の講義を受講していますが、毎回新たな発見や気づきが得られる為、自己点検のために、また講演に伺いたいと思いました。貴重なお話しありがとうございました。

ありがとうございました。発達障害をもつ人の就労に関して、より早期に適切な関わりを持つことが重要であると学びました。障害を開示するほど、職業定着率が高いとはわかりながら、障害を認めることが困難な事例が多いように思います。まだまだ偏見が覆らないので、まずは職員から意識の統一を行っていきます。

就労支援の概要が把握できる内容になっていました。ありがとうございました。

今、得たい情報があり大変参考になりました。

発達障害の当事者ですが、自分にもし子供ができた時にこの内容を見てよかったと思いました。印象に残った内容で発達障害の程度により、各ステージごとの支援、サポートが複雑になるというのがありました。発達障害であることを認めずに、学校期間を過ごすのはとんでもないリスクではあります。しかし、だからといって配慮のみをした上での教育、学校生活は適当であるのか。その上でのキャリア形成は適切に行えるのか、それは本人にとっての幸せなものになるのか。これは以前からも疑問に思うことでした。本人の意思も大事ではありますが、適切な自己理解、サポートを受けた上でのライフキャリアの創造が大事です。その支援は一概に本人の特性内容によって、時期、方法等定型化しにくいものであることを整理、図表、言語化して見れたのは良かったです。私の場合は、学生生活の時点で自分自身に違和感を感じていましたが、努力不足だと思って社会人になってから大変なことになりました。理想を追い求めて仕事を決めたパターンでは、その後のミスマッチで離職、転職を繰り返す辛い結果になりかねません。今までの自分自身の選択を客観的に振り返りながら見えたのも良かったです。

以上

(41 件の回答を原文のまま記載)